

2025年度 一般選抜問題
前期A日程 2025年1月25日(土)

選 択 科 目

(数学・基礎理科・物理・化学・生物・日本史・世界史・国語)

数 学	1～ 6ページ
基礎理科	7～ 28ページ
※2科目選択して1科目の扱いとなります。	
物 理	29～ 41ページ
化 学	43～ 56ページ
生 物	57～ 71ページ
日 本 史	73～ 83ページ
世 界 史	85～ 99ページ
国 語	101～115ページ

注 意 事 項

1. 試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
2. 3科目型の受験生および3科目型と2科目型を併願する受験生は上記の科目から2科目を、2科目型の受験生は、上記科目と英語から2科目を選択してください。但し受験票に記載された科目以外を受験すると0点となります。
3. 解答用紙には、「**数学**」(青色)と「**基礎理科**」(赤色)と「**数学・基礎理科以外**」(赤色)の3種類があります。
4. 試験開始後、解答用紙に受験番号と名前を必ず記入し、受験番号をマークしてください。数学以外の科目については、解答する科目を選び、科目の右にマークしてください。また解答科目欄に科目名を記入してください。正しくマークされていない場合は0点となります。
5. 解答はすべて解答用紙の解答欄にマークしてください。「**基礎理科**」の解答用紙は2科目を選択し、科目ごとに決められた解答欄にマークしてください。3科目に解答した場合は0点となります。
6. 問題用紙の余白は計算に使用してもかまいませんが、解答用紙を汚してはいけません。
7. 試験開始後、問題用紙・解答用紙に落丁・損傷がないか確認してください。
8. 数学の問題の冒頭には「**解答上の注意**」が記入されていますので、必ず読んでから解答してください。
9. 試験終了後、問題用紙は持ち帰ってください。

世界史

1 古代オリエント世界の都市について述べた次の文A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A 西アジアからエジプトにかけての地域にあたるオリエント世界では、古代文明が興亡し、さまざまな都市が築かれた。

ティグリス川とユーフラテス川にはさまれた地域であるメソポタミアでは、前2700年頃までに民族系統不明の(a) シュメール人によって数多くの都市国家が形成された。このうち、ユーフラテス川下流域のウルの遺跡からは、ウルのスタンダードなどさまざまな副葬品が出土している。

ユーフラテス川中流域のバビロンは、(b) ハンムラビ法典で知られるバビロン第1王朝の時代に都として繁栄した。その後、新バビロニア（カルデア）の都となったが、(c) 前586年に新バビロニアがユダ王国を征服した際には、ユダ王国の住民がバビロンに連行された。

問1 下線部(a)について述べた文として誤っているものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。

- ① ウルクやラガシュなどの都市国家を形成した。
- ② 六十進法や太陰暦を発明した。
- ③ 楔形文字を創始した。
- ④ アーリア人によって征服された。

問2 下線部(b)について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

- a 身分による刑罰の差はなかった。
- b 復讐法の原則に立っていた。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
- ③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問3 下線部(c)に関連して、ユダ王国を征服した新バビロニアの王と、ユダヤ人をバビロンから解放した勢力の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。

3

新バビロニアの王

a ネブカドネザル2世 b ダヴィデ王

ユダヤ人をバビロンから解放した勢力

あ アケメネス(アカイメネス)朝 い アッシリア王国

① a-あ ② a-い ③ b-あ ④ b-い

B (d)エジプトでは、ナイル川の定期的な氾濫によって肥沃な土壌が生み出され、豊かな農耕文明が成立した。このため、(e)「エジプトはナイルのたまもの」といわれる。前3000年頃には統一国家が形成され、約30の王朝が交替した。

古王国の時代には、ナイル川下流域の **ア** が中心都市とされ、中王国の時代にはナイル川中流域の **イ** が中心都市となった。新王国の時代にも **イ** が中心都市となったが、前14世紀に(f)宗教改革を断行したアメンヘテプ4世(アクエンアテン)の時代には、中部エジプトの **ウ** に都が移され、王の死後に都は **イ** に戻された。

問4 文章中の空欄 **ア** ~ **ウ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 4

- | | | | |
|---|--------------|--------------|--------------|
| ① | ア-テル=エル=アマルナ | イ-メンフィス | ウ-テーベ |
| ② | ア-テル=エル=アマルナ | イ-テーベ | ウ-メンフィス |
| ③ | ア-メンフィス | イ-テル=エル=アマルナ | ウ-テーベ |
| ④ | ア-メンフィス | イ-テーベ | ウ-テル=エル=アマルナ |
| ⑤ | ア-テーベ | イ-テル=エル=アマルナ | ウ-メンフィス |
| ⑥ | ア-テーベ | イ-メンフィス | ウ-テル=エル=アマルナ |

問5 下線部(d)に関連して、古代エジプトの文化について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 5

a 靈魂の不滅を信じてミイラをつくった。
b 碑文などに刻まれた神聖文字(ヒエログリフ)は、ローリンソンによって解読された。

① a-正 b-正 ② a-正 b-誤
③ a-誤 b-正 ④ a-誤 b-誤

問6 下線部(e)について、この言葉を書き記した古代ギリシアの歴史家と、その事績の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 6

「エジプトはナイルのたまもの」と書き記した古代ギリシアの歴史家

a ヘロドトス b ホメロス

事績

あ 『イリアス』『オデュッセイア』を残した。

い ペルシア戦争を主題とする『歴史』を著した。

① a-あ ② a-い ③ b-あ ④ b-い

問7 下線部(f)について、アメンヘテプ4世(アクエンアテン)が信仰を強制した太陽神として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 7

① オシリス ② アメン(アモン) ③ アテン(アトン) ④ ヴィシュヌ神

C メソポタミアとエジプトを結ぶ東地中海沿岸のシリア・パレスチナ地方では、エのアラム人・フェニキア人・ヘブライ人の活動が活発であった。

アラム人は内陸都市を結ぶ中継貿易で活躍した。アラム人が活動の拠点としたシリアのダマスカスは交易路が交差する要地で、(g)ウマイヤ朝の時代にもその首都とされた。フェニキア人は地中海交易を独占し、地中海東岸のシドンやオを拠点とした。多くの植民都市を建設し、オ出身のフェニキア人植民者は、北アフリカに植民都市(h)カルタゴを建設した。ヘブライ人(ユダヤ人)はパレスチナにエルサレムを首都とする統一王国を建てたが、前10世紀頃に王国は南北に分裂した。

問8 文章中の空欄エ・オに入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 8

- | | |
|-----------------|---------|
| ① エーセム語系 | オーティルス |
| ② エーセム語系 | オーティリンス |
| ③ エーインド=ヨーロッパ語系 | オーティルス |
| ④ エーインド=ヨーロッパ語系 | オーティリンス |

問9 下線部(g)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 9

- ① シリア総督のウスマーンによって開かれた。
- ② 被征服地の人々にジズヤ(人頭税)とハラージュ(土地税)を課した。
- ③ クトゥブ=ミナールを建立した。
- ④ ササン朝によって滅ぼされた。

問10 下線部(h)について、次の年表に示した a～d の時期のうち、カルタゴが滅亡した時期として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 10

a
前 490 年 マラトンの戦い
b
前 338 年 カイロネイアの戦い
c
前 31 年 アクティウムの海戦
d

- ① a ② b ③ c ④ d

2 イギリスの王朝について述べた次の文A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A 中世のイギリスを支配したプランタジネット朝は、フランスのアンジュー伯アンリがヘンリ2世として即位したことに始まる。ヘンリ2世の子である **ア** は、フランス王との戦いに敗れて大陸領の大半を失い、さらに教皇と争って破門された。また、重税を課したことから貴族の反発を招き、1215年に大憲章（マグナ=カルタ）を承認した。続く(a)ヘンリ3世は大憲章を無視したため、貴族の反乱を招いた。14世紀前半、フランスで **イ** 朝が断絶して新王朝が成立すると、エドワード3世は母が **イ** 家出身であったことからフランスの王位継承権を主張し、(b)百年戦争が始まった。プランタジネット朝は百年戦争中に断絶し、百年戦争後にはランカスター家とヨーク家による内乱が起こった。

問1 文章中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **11**

- ① アージョン王 イーカペー
- ② アージョン王 イーカロリング
- ③ アーウィリアム1世 イーカペー
- ④ アーウィリアム1世 イーカロリング

問2 下線部(a)について、ヘンリ3世の時代に反乱を起こした人物と、その事績の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 **12**

ヘンリ3世の時代に反乱を起こした人物

a ジョン=ボール b シモン=ド=モンフォール

事績

あ 上院（貴族院）と下院（庶民院）からなる二院制を確立した。

い 高位聖職者・大貴族の会議に、州や都市の代表を加えた会議を招集した。

- ① a－あ ② a－い ③ b－あ ④ b－い

問3 下線部(b)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **13**

- ① 戦争の背景には、ラヴェンナ地方をめぐるイギリス・フランス両国の対立があった。
- ② 長弓兵を駆使したフランス軍は、クレシーの戦いでイギリス軍を破った。
- ③ エドワード黒太子の活躍により、イギリスはフランス南西部を奪った。
- ④ フランスは、シャルル10世の時代に百年戦争に勝利した。

B 絶対王政期のイギリスを支配したテューダー朝は、バラ戦争に勝利したランカスター派のヘンリがヘンリ7世として即位したことに始まる。ヘンリ7世の子であるヘンリ8世の時代には、国王の主導によって(c)宗教改革が進められ、イギリス国教会が成立し、カトリック圏から離脱した。イギリスの宗教改革のきっかけとなったのは王妃との離婚問題で、『ユートピア』の著者 **ウ** は国王の離婚に反対したため処刑された。ヘンリ8世は修道院を解散してその土地を売却し、この土地を手に入れた新興地主層の **エ** (郷紳) は社会的地位を高めた。その後、教義面の改革が進められ、(d)エリザベス1世の時代にはイギリス国教会が確立した。また、この時代には(e)イギリス東インド会社が設立され、本格的な海外進出が進められたが、エリザベス1世の死によってテューダー朝は断絶した。

問4 文章中の空欄 **ウ** ・ **エ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～

④のうちから一つ選びなさい。 **14**

- | | |
|---------------|---------|
| ① ウーThomas=モア | エーヨーマン |
| ② ウーThomas=モア | エージェントリ |
| ③ ウーチャーサー | エーヨーマン |
| ④ ウーチャーサー | エージェントリ |

問5 下線部(c)に関連して、1517年に「九十五カ条の論題」を発表したドイツの神学者として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **15**

- | | |
|----------|------------------------|
| ① ルター | ② ミュンツァー |
| ③ ツヴィングリ | ④ フランシスコ=ザビエル (シャヴィエル) |

問6 下線部(d)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 **16**

- a 統一法が定められた。
b イギリス海軍がスペインの無敵艦隊 (アルマダ) を撃退した。

- | | | | |
|---------|-------|---------|-------|
| ① a - 正 | b - 正 | ② a - 正 | b - 誤 |
| ③ a - 誤 | b - 正 | ④ a - 誤 | b - 誤 |

問7 下線部(e)について、次の年表に示した a～d の時期のうち、イギリス東インド会社が解散した時期として最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 17

a
1799年 シク王国が成立した
b
1877年 インド帝国が成立した
c
1914年 第一次世界大戦が勃発した
d

- ① a ② b ③ c ④ d

C スチュアート朝は、スコットランド王のジェームズ6世がイングランド王ジェームズ1世として即位したことに始まる。ジェームズ1世の子であるチャールズ1世は、(f) 王権神授説をとなえて専制政治を行ったため、王党派と議会派の対立が深まり、ピューリタン革命とよばれる内戦が起こった。(g) クロムウェルを指導者とする議会派が王党派に勝利し、チャールズ1世は1649年に処刑された。その後、イギリスでは共和政が樹立されたが、1660年に王政復古が実現された。しかし、国王は反動化して議会と対立し、1685年に即位した国王も専制政治を行ってカトリックの復活をはかったため(h) 名誉革命を招いた。その後、イギリスは1707年にスコットランドと合同してグレートブリテン王国を形成したが、1714年にステュアート朝は断絶した。

問8 下線部(f)に関連して、王権神授説をとなえたヨーロッパの君主と、その君主の言葉の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 18

王権神授説をとなえたヨーロッパの君主

- a フリードリヒ2世（大王） b ルイ14世

言葉

- あ 「君主は国家第一の僕」
い 「朕は国家なり」

- ① a－あ ② a－い ③ b－あ ④ b－い

問9 下線部(g)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 19

- a イングランド銀行を創設した。
b アイルランドとスコットランドを征服した。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問10 下線部(h)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 20

- ① 首相のウォルポールは、名誉革命を主導した。
② 名誉革命中、議会は権利の請願を提出した。
③ 『リヴァイアサン』の著者であるロックは、名誉革命を擁護した。
④ 名誉革命の結果、メアリ2世とウィリアム3世が即位した。

3 明・清代の中国について述べた次の文A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A 1368年に皇帝の座についた(a) 朱元璋(洪武帝)によって建てられた明朝では、漢人による皇帝支配体制の再建がめざされた。洪武帝の死後、(b) 燕王が反乱を起こし、南京を占領して永楽帝として帝位についた。永楽帝は積極的な対外政策をとり、ムスリムの宦官である **ア** の船団を各地に派遣した。明は海禁政策をとって朝貢貿易を推進し、(c) 朝鮮王朝など周辺諸国と冊封関係を結んだ。16世紀には国際商業が活発になり、貿易の利害を求めてさまざまな勢力が衝突するようになった。

16世紀後半になると、**イ** によって改革が進められたが、地方出身の官僚の反発を招き、党争によって政治は混乱した。重税や天災などによって各地で反乱が起こり、1644年、李自成の反乱軍によって都を占領され、明は滅亡した。

問1 文章中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る人名の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **21**

- ① **ア**－鄭玄 **イ**－張居正 ② **ア**－鄭玄 **イ**－王安石
③ **ア**－鄭和 **イ**－張居正 ④ **ア**－鄭和 **イ**－王安石

問2 下線部(a)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **22**

- ① 中央政府に三省・六部を設けた。
② 村落行政制度として三長制を採用した。
③ 兵制として衛所制を採用した。
④ 民衆教化のため、二十一カ条の要求を定めた。

問3 下線部(b)について、この内乱を招いた明の皇帝と、内乱の名の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 **23**

内乱を招いた明の皇帝

- a 建文帝 b 正統帝

内乱の名

- あ 靖康の変 い 靖難の役

- ① a－あ ② a－い ③ b－あ ④ b－い

問4 下線部(c)について述べた次の出来事 a～c が、時代の古い順に正しく配列されているものを、下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 24

- a 訓民正音（ハングル）が制定された。
- b 江華島事件が起こった。
- c 李舜臣が豊臣秀吉の朝鮮侵攻に抵抗した。

- ① a → b → c ② a → c → b ③ b → a → c
- ④ b → c → a ⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

B 中国東北地方では、女真（女直，満洲人）が明の支配を受けていたが、1616年，ヌルハチによって金（後金，アイシン）が建国され，第2代のホンタイジの時代に国号が清とされた。明が滅亡すると，清は北京に入城して遷都し，明の残存勢力を平定して中国皇帝の地位を受け継いだ。その後，清は(d)康熙帝・雍正帝・乾隆帝の時代にかけて最盛期をむかえた。清の版図は18世紀後半に最大となり，東アジアや(e)東南アジアの諸国は清に朝貢を行った。康熙帝の時代に清は厳しい海禁政策をとったが，17世紀後半には解除し，海上貿易が活発となった。しかし，(f)1757年に乾隆帝はヨーロッパ船の来航を制限した。

問5 下線部(d)について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。 25

- ① ロシアとネルチンスク条約を結んだ。
- ② 八王の乱を平定した。
- ③ 満洲文字を創始した。
- ④ 新疆を統治下においた。

問6 下線部(e)について，清の朝貢国について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選びなさい。 26

- a スマトラ島のシュリーヴィジャヤは，清に朝貢した。
- b ベトナムの李朝は，清の制度を取り入れた。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
- ③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問7 下線部(f)について、ヨーロッパ船の来航が認められた唯一の港と、その港を示す次の地図中のaまたはbの組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 27



- ① 南京－a ② 南京－b ③ 広州－a ④ 広州－b

C 明・清代には、「世界の一体化」が進展し、社会にさまざまな影響を及ぼした。明代には、長江中流域の ウ が新たな穀倉地帯となり、長江下流域では綿織物や生糸などの家内制手工業が発展した。陶磁器や生糸はヨーロッパにも輸出され、貿易を通じて海外から銀が流入するようになると、(g) 税制が改革された。清代には人口が増加して山地の開墾が進み、トウモロコシやサツマイモなどアメリカ大陸原産の作物の栽培が普及して人口増加を支えた。産業の発達には都市の発展を促し、都市文化が成長した。木版印刷による書物の出版が盛んとなり、小説や(h) 科学技術書などが出版された。16世紀以降はヨーロッパのキリスト教宣教師が中国に来航するようになり、中国へ西洋の科学技術を伝えた。また、明末清初の動乱期に活躍した エ らが先駆となり、清代には考証学が発展した。

問8 文章中の空欄 ウ ・ エ に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 28

- ① ウ－蘇湖（江浙） エ－顧憲成 ② ウ－蘇湖（江浙） エ－顧炎武
 ③ ウ－湖広 エ－顧憲成 ④ ウ－湖広 エ－顧炎武

問9 下線部(g)に関連して、明・清代の税制について述べた次の文aとbの正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 29

- a 明代後期には、各種の税や労役を銀に一本化して納入する一条鞭法が導入された。
 b 清代には、地丁銀制が採用され、人頭税が廃止された。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
 ③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問10 下線部(h)について、李時珍の著書として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ
選びなさい。 30

- ① 『幾何原本』 ② 『本草綱目』 ③ 『農政全書』 ④ 『天工開物』

4 交通をめぐる歴史について述べた次の文A～Cを読み、下の問い（問1～10）に答えなさい。

A 古代より、人々はさまざまな交通手段によって各地を行き来してきた。前近代の世界では、駅伝制とよばれる交通・通信制度がとられることがあった。(a)アケメネス（アカイメネス）朝の時代には、都を中心とする駅伝制が整備され、「王の道」とよばれる国道が設けられた。ユーラシアの東西を支配した(b)大モンゴル国（モンゴル帝国）から元の時代にかけては、駅伝制が整備されたことによって東西交流が活発となった。また、ラテンアメリカの(c)インカ帝国においても道路網や駅伝制が整備された。

ユーラシアの東西を結ぶ道としては、古代より「草原の道」や「オアシスの道」が利用されてきた。イラン系の **ア** は、古くから中央ユーラシアのサマルカンドを拠点として中継貿易に従事した。また、地中海からインド洋を経て東南アジア・東アジアにいたる「海の道」では、季節風を利用した海上交易が活発に行われ、交易ルート沿いに港市国家が栄えた。このうち、扶南の外港 **イ** の遺跡からは、ローマ金貨やインドの神像などが出土した。

問1 文章中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **31**

- ① アークルド人 イーオケオ
- ② アークルド人 イーパレンバン
- ③ アーソグド人 イーオケオ
- ④ アーソグド人 イーパレンバン

問2 下線部(a)について、アケメネス（アカイメネス）朝において政治の中心となった都市として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 **32**

- ① スサ ② ミレトス ③ ニネヴェ ④ サルデス（サルディス）

問3 下線部(b)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 **33**

- a 駅伝制は、モンゴル語でキャラヴァンサライとよばれた。
- b イブン=バットゥータが元代の中国を訪れた。

- ① a－正 b－正 ② a－正 b－誤
- ③ a－誤 b－正 ④ a－誤 b－誤

問4 下線部(c)について、インカ帝国の都と、インカ帝国を滅ぼした人物の組合せとして最も
適当なものを、下の①～④のうちから一つ選びなさい。 34

インカ帝国の都

a クスコ b テノチティトラン

インカ帝国を滅ぼした人物

あ ピサロ い コルテス

- ① a-あ ② a-い ③ b-あ ④ b-い

B 15～16世紀になると、ヨーロッパ諸国は積極的に海洋進出をはかるようになった。(d)ポ
ルトガルは、ヨーロッパとインドを結ぶアジア航路(インド航路)を開拓し、1498年にポ
ルトガルの航海者 ウ はアフリカ南端の喜望峰をまわってインド西岸にいたった。ポ
ルトガルの海洋進出に刺激されたスペインは、大西洋を横断するコロンブスの計画を後援し、コ
ロンブスの航海以降、アメリカ大陸への進出を本格化した。また、スペインはアジア航路の
探索も行った。ポルトガルの航海者 エ の船隊は、スペインの後援によって世界初の世
界周航を達成した。ヨーロッパ諸国の海洋進出により、(e)「世界の一体化」が始まり、ヨー
ロッパや中南米・アジアなど各地にさまざまな影響をもたらすこととなった。

問5 文章中の空欄 ウ・エ に入る人名の組合せとして最も適当なものを、次の①～
④のうちから一つ選びなさい。 35

- ① ウーヴァスコ=ダ=ガマ エーアメリゴ=ヴェスプッチ
② ウーヴァスコ=ダ=ガマ エーマゼラン(マガリャンイス)
③ ウーバルトロメウ=ディアス エーアメリゴ=ヴェスプッチ
④ ウーバルトロメウ=ディアス エーマゼラン(マガリャンイス)

問6 下線部(d)について、1510年にポルトガルが占領したインド西岸の港市として最も適
当なものを、次の①～④のうちから一つ選びなさい。 36

- ① マドラス ② マニラ ③ カルカッタ ④ ゴア

問7 下線部(e)について述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選
びなさい。 37

- ① 国際商業の中心が、地中海沿岸から大西洋沿岸に移動した。
② アメリカ大陸産の銀が流入したことにより、ヨーロッパの物価が下落した。
③ アメリカ大陸産のコシヨウが、ヨーロッパやアジアに持ち込まれた。
④ 西ヨーロッパでは農場領主制が広まり、農奴制が強化された。

C 18 世紀後半，イギリスで世界初となる(f)産業革命が始まった。この過程で実用化された蒸気機関は，さまざまな動力に応用されることとなり，蒸気機関車や蒸気船が発明された。また，大量の原料や製品を輸送するために運河網の拡大や道路の整備が進められたことで，交通環境も飛躍的に発展することとなった。これを交通革命という。特に，(g)鉄道は各国の産業革命を推進する原動力となり，帝国主義の時代には植民地支配の手段の一つともなった。1869 年に完成した(h)スエズ運河は地中海と紅海を結ぶ運河で，ヨーロッパとアジアの移動距離を大幅に短縮することとなった。その後，19 世紀末になると自動車が発明され，20 世紀初めになると，ライト兄弟が動力飛行機の飛行に成功した。

問 8 下線部(f)について述べた文として最も適当なものを，次の①～④のうちから一つ選びなさい。 38

- ① ジョン=ケイは，力織機を発明した。
- ② ダービーは，コークス製鉄法を改良した。
- ③ アークライトは，多軸紡績機（ジェニー紡績機）を発明した。
- ④ フルトンは，ミュール紡績機を発明した。

問 9 下線部(g)に関連して，世界史上の鉄道について述べた次の出来事 a ～ c が，時代の古い順に正しく配列されているものを，下の①～⑥のうちから一つ選びなさい。 39

- a ロシアが東清鉄道の敷設権を獲得した。
- b アメリカ合衆国で最初の大陸横断鉄道が完成した。
- c 日本が長春・旅順口間の鉄道の利権を獲得した。

- ① a → b → c ② a → c → b ③ b → a → c
- ④ b → c → a ⑤ c → a → b ⑥ c → b → a

問10 下線部(h)について述べた次の文 a と b の正誤の組合せとして最も適当なものを，下の①～④のうちから一つ選びなさい。 40

- a フランスのオスマンによって建設された。
- b イギリスのロイド=ジョージ首相は，スエズ運河会社株を買収した。

- ① a - 正 b - 正 ② a - 正 b - 誤
- ③ a - 誤 b - 正 ④ a - 誤 b - 誤

(このページは、空白である。)